

I 景観特性の分析

I-1. 自然景観と人との繋がり①

1. 地形が生み出す自然景観

- ・五島はたくさんの島から構成されており、その島々が山がちな地形をしているため山上に眺望点となる場所が多く、そこから眺めると島々が連なって見えます。
- ・海岸線は入り組んでおり、海岸道路も地形に合わせた曲がりの多い線形になりがちです。
- ・このような地形の特徴により、山・海が集落や道路の背景となる風景が多く見られます。また、谷間を流れる川と一体的な風景を形成しています。



多くの島から構成される景観



山がちな地形



入り組んだ海岸線



地形と一体的な風景を形成する川



山や海が背景になる景観が多い



山や海が背景になる景観が多い

2. 生活や歴史の中にある自然景観

五島には、鬼岳や高浜ビーチ、城岳に代表されるような、住民の生活や歴史と結びついている自然景観が多く見られ、五島の自然環境の中で人々がたくましく生きてきたことが伺えます。



野焼き活動により美しい草原風景が維持される鬼岳



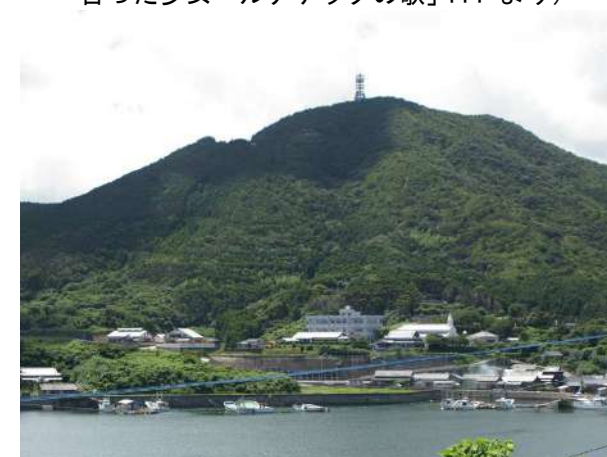
荒々しい海を航海する船を支えてきた大瀬崎灯台



山の斜面を拓いた棚田や段畑（「聖母の出合った少女ベルナデッタの歌」HPより）



観光客や地元住民に利用される美しいビーチ

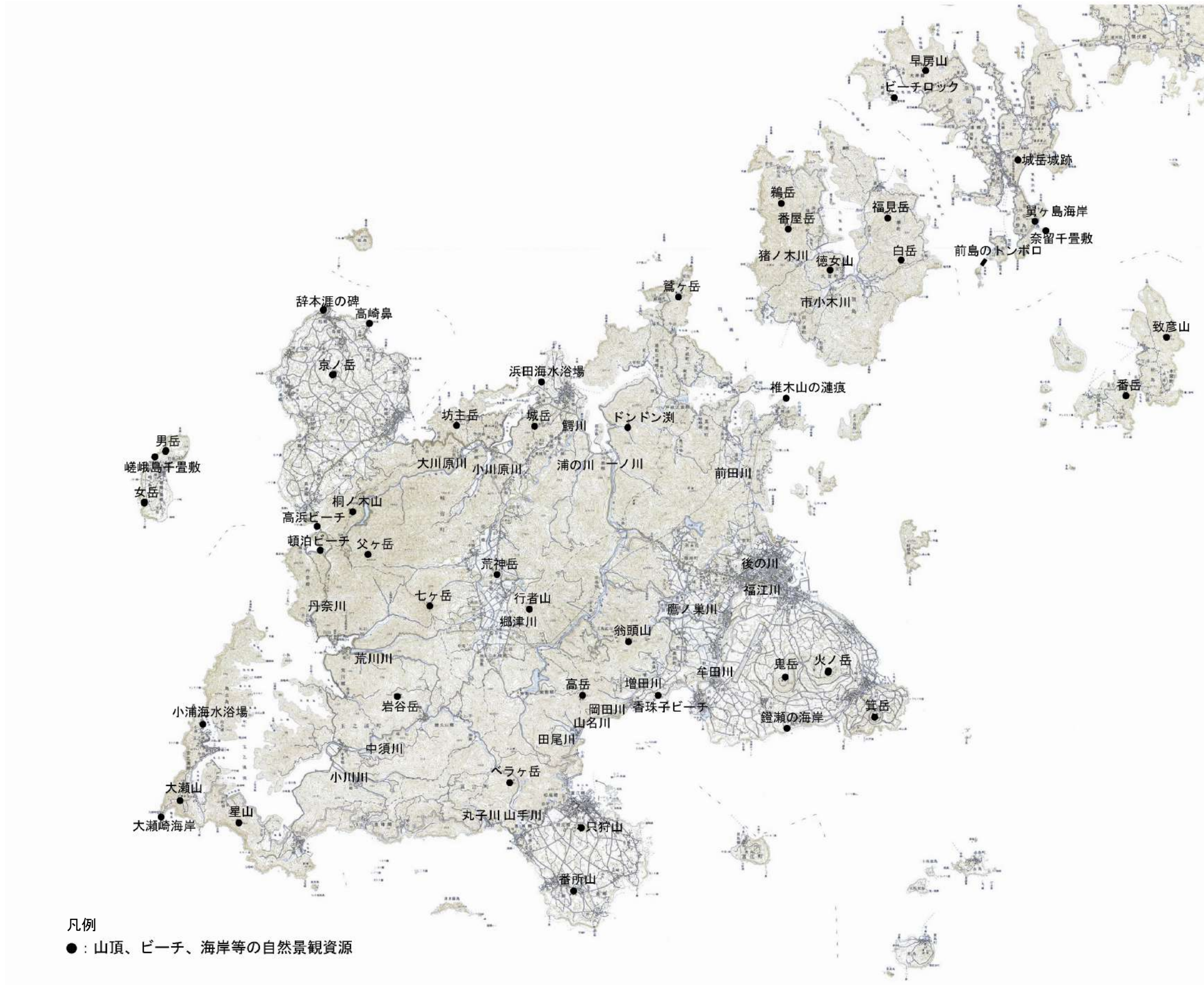


室町時代に宇久五島家の城があった城岳（岐宿）



川は田畑に水を与え人々の生活を支えてきた

I-1. 自然景観と人との繋がり②



図：五島市の自然景観

I-2. 集落景観①

1. 集落の立地・土地利用

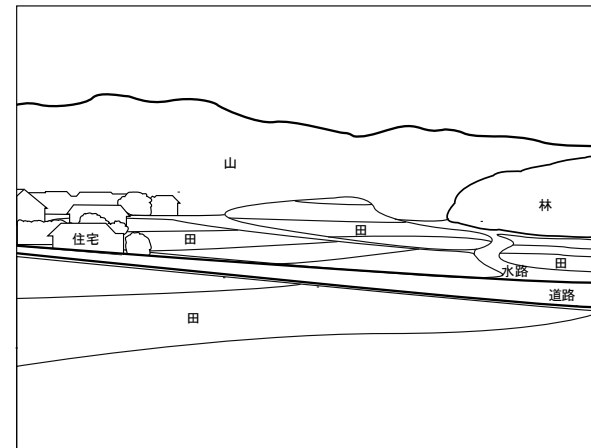
- ・五島の山がちな地形の中で、比較的まとまった平地と河川等の水源がある場所に農村集落が形成されています。また、集落は風環境が比較的穏やかな島の南側や湾内に位置しています。
- ・平地が狭い場所には、漁村集落や半農半漁の集落が形成されています。
- ・特にカクレキリシタンの信徒によって形成された集落は、自然環境の厳しい島の北部や平地の狭い場所に立地しています。

(1) 農村集落の景観

比較的まとまった平地と水源がある場所には、農村集落が形成されています。農村集落は、一番低いところを河川や水路が流れ、その河川沿いに水田があり、水田よりも若干高い微高地に住宅が立地、さらに背後に段畑等に利用された山がある形態をとっています。



幾久山の集落の様子

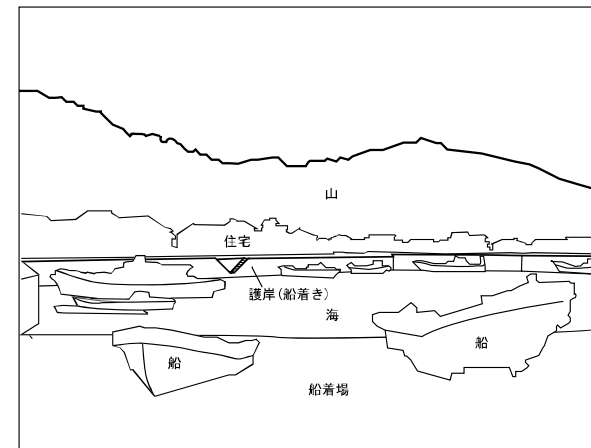


(2) 漁村集落の景観

- ・平地が狭い場所や細長い平地しかない場所には、漁村集落が形成されています。漁村集落は、海岸線沿いに船着場があり、そのすぐ陸側に住宅地が密集して並んでいることが特徴です。
- ・かつては、後背の山に住民の食料を栽培する段畑が拓かれていました。



玉之浦の集落の様子

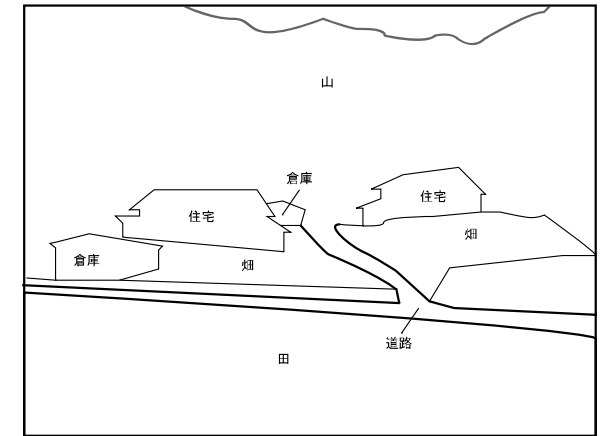


(3) 様々な形態をもつキリシタン集落

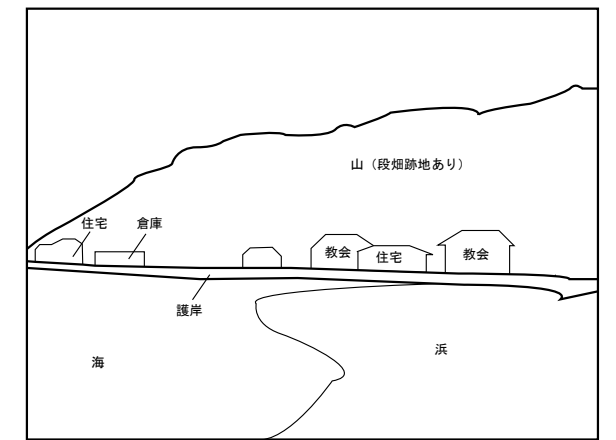
- ・キリシタン集落は、自然環境が厳しく平地の狭い場所に形成しており、その地形や自然環境に合わせて様々な形態の集落が見られます。
- ・宮原は、農村集落の形態ですが、実際には戸岐や半泊といった良好な漁港を有する集落の近くに立地していたため、戸岐や半泊に向いて漁業をおこなう半農半漁の集落です。
- ・五輪は、土地利用や建物の立地について典型的な漁村集落の形態をとっています。
- ・半泊は、漁村集落ですが、住宅が海からの風を除けるように山影に点在して立地しています。



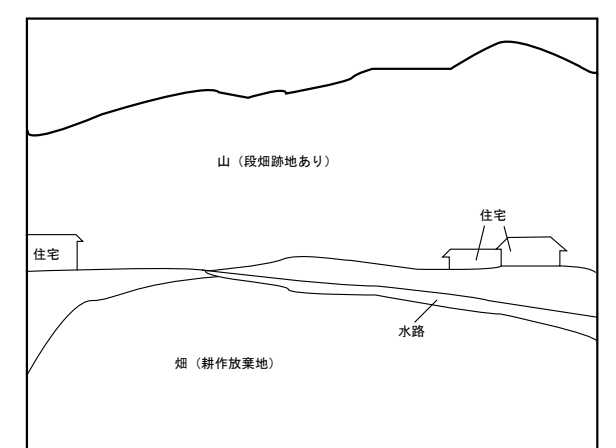
宮原の集落の様子



五輪の集落の様子



半泊の集落の様子



I-2. 集落景観②

2. 集落の景観構成要素

- ・集落には、五島の人々の生業や信仰の歴史を伝える下表のような景観構成要素が見られます。
- ・特に、かんころ棚、防風のための石垣、棚田、教会、船着場などは、五島の環境の中でうまれた特徴的な景観構成要素です。

表：景観単位と景観構成要素

景観単位	景観構成要素			
世帯	民家	駐車場		
	畑地	石垣（防風）	石垣（宅地造成）	
	防風林			
	倉庫（農業用具）	倉庫（漁業用具）	倉庫（生活用具）	
	牛舎	鶏小屋		
	薪置き場、薪割り場	いもがま	かんころ棚	
	五右衛門風呂 井戸	肥溜め 湧き水		
共有域	教会	御堂	樹木	
	修道院			
	墓地	広場	公園	
	公共建築	学校	公民館	
	公共駐車場	船着場（教会アクセス）		
	石垣（造成）	石垣（防風）		
	共有林			
生産空間	農業関連	棚田	段畑	円畑
		果樹	椿林	防風林（椿）
石垣（防風）		石垣（造成）	石垣（土地境界）	
漁業関連	倉庫（農具）	農業用水路		
	漁業関連	船着場	護岸（船着き）	
		倉庫（漁場）	船（漁船、レジャー船）	
魚場		網		
	山林	道路	河川	
	護岸（波除け）	水面	島	



住宅・自家栽培の田畑・かんころ棚



石積み護岸の船着場・船



棚田・造成用石積み



教会・防風林・防風用石積み



教会・樹木



小学校

I-3. 農地景観

- ・五島の農地は、その地形に対応した様々な形式のものがみられます。
- ・水田には、山の斜面を利用した棚田、平地の水田、干拓地を利用した水田があります。
- ・畑には、山の斜面を利用した段畑があります。特に三井楽地方の円畑は円形をした特徴的な段畑です。



地形に合わせた農地形成



地形に合わせた農地形成（「聖母の出合った少女ベルナデッタの歌」HPより）



棚田



広い平地にある水田



干拓地の水田



段畑



円畑

I-4. 歴史的な景観

1. 歴史的な施設

- ・五島藩の城下町として栄えた福江には江戸時代の面影が残っています。
- ・福江城跡や常灯鼻の石積みからは激しい波や風に耐えうる江戸時代末期の高い石工技術が伺えます。
- ・安政7年（1778年）に本堂が再建された明星院は五島最古の木造建築物です。



江戸時代の石積みが残る武家屋敷通り (※)



石田城（福江城）跡 (※)



防波堤と灯台の役割をもつ常灯鼻 (※)



五島家代々の祈願寺である明星院 (※)

2. 言い伝えや伝統行事

- ・五島は遣唐使船が立ち寄った歴史があるといわれ、関連する施設が残されています。
- ・白鳥神社は最澄が航海の安全を祈願し、観音を納めたといわれています。江戸時代には五島藩の信仰も篤く、現在も伝統行事が行われています。
- ・明星院や大宝寺は空海が立ち寄ったといわれています。



柏崎は遣唐使船が風待ちをしたと言われる



遣唐使船の飲料水として利用されたと
言われるふぜん河 (※)



白鳥神社での例大祭 (※)

※出典：五島市ガイドブック（長崎県五島市）

I-4. 歴史的な景観【参考資料：五島市の文化財①】

1. 国指定

文化財保護法では、文化財を「有形文化財」、「無形文化財」、「民俗文化財」、「記念物」「文化的景観」及び「伝統的建造物群」と定義し、これらの文化財のうち、重要なものを重要文化財、史跡名勝天然記念物等として国が指定選定し重点的な保護の対象としています。このほか、保存と活用が特に重要なものを登録し、保護に努めています。

重要文化財



江上天主堂



旧五輪教会堂

天然記念物



男女群島（※）



奈留島権現山社叢（※）



銅造如来立像（※）

名勝



石田城五島氏庭園



ヘゴ自生北限地帯（荒川）（※）



ヘゴ自生北限地帯（増田）（※）

無形民俗文化財



下五島大宝郷の砂打ち



下崎山のヘトマト行事



五島神楽

※出典：長崎県HP「長崎県の文化財」より

2. 県指定

文化財保護法の規定による国の指定を受けた文化財以外の文化財で、県の区域内に存するもののうち重要なものについて、その保存及び活用のため必要な措置を講じ、もって県民の文化的向上に資するとともに、我が国文化の進歩に貢献することを目的としています。

有形文化財



堂崎教会



浦頭教会聖教木版画
(筆彩三幅) (※)



明星院の本堂・木造阿弥陀如来立像 (※)



大宝寺の梵鐘 (一口) (※)



史跡



石田城 (福江城) 跡

※出典：長崎県HP「長崎県の文化財」より

天然記念物



鬼岳火山涙産地 (※)



嵯峨島火山海食崖 (※)



黄島溶岩トンネル (※)



漣痕 (三井楽) (※)



富江溶岩トンネル「井坑」(※)



福江椎木山の漣痕 (※)



富江町・山崎の石罫(※)



巖立神社社叢 (※)



白鳥神社社叢 (※)



船廻神社社叢 (※)



久賀島のツバキ原始林 (※)



福江の大ツバキ (※)



五島檜の浦のアコウ(※)



五島玉之浦のアコウ (※)



頓泊のカラタチ群落(※)



島山島のヘゴ自生地 (※)



七岳のリュウビンタイ群落 (※)



丹奈のヘゴ、リュウビン
タイ混交群落 (※)



荒川のハマジンチョウ (※)



奈留島蹴ノ浦の
ハマジンチョウ群落 (※)



岐宿町タヌキアヤメ群 (※)



チャンココ (※)



オーモンデー (※)



貝津の獅子こま舞 (※)

I-5. 生活を支えてきた石積み①

- ・五島では、住宅地や教会等の建築物周辺、畑や水田等の農地周辺、港の護岸や道路の法面で、石積みが使用されています。
- ・これらの石積みは、山を開墾し、出土した石を積んで敷地境界を示しながら、畑や水田を造成してきた歴史や、風雨の厳しい環境での生活をあらわしており、五島らしい風景として評価することができます。
- ・近年では、石を積める技術を持った石工が地域からいなくなり、これらの石積みをどのように維持していくかが課題となっています。

1. 建築物周辺に見られる石積み

建築物周辺では、(1)造成のための石積み、(2)防風用の石積み、(3)防御用の石積み、の使い方が見られます。



宅地造成のための石積み



教会建設地の造成のための石積み

2. 農地周辺に見られる石積み

畑・水田等の農地周辺では、(1)造成のための石積み、(2)防風のための石積み、(3)倉庫のための石積み、(4)開墾した農地の境界を示すための石積み、の使い方が見られます。



棚田の造成のための石積み



水田の造成のための石積み



防風のための石積み



屋敷の防御のための石積み



畑の防風のための石積み



富江の石倉

3. 港・道路に見られる石積み

港や道路には、(1)海岸の護岸の石積み、(2)道路建設のための石積み、の使い方が見られます。



海水浴場の護岸の石積み



海岸の護岸の石積み



道路建設のための石積み



道路建設のための石積み

I-6. キリシタン関連施設①

1. 信徒によって守られてきた教会

- ・五島市には現在 20 箇所の教会が存在し、これらの教会は信徒の奉仕で建設され、現在まで信徒たちによって維持・補修が行われてきました。
- ・堂崎教会は県指定有形文化財、旧五輪教会堂・江上天主堂は国指定の重要文化財に指定されており、建築物として高い評価を受けています。
- ・教会は建築的評価にとどまらず、信徒の信仰のシンボルであり、信徒によって維持・管理されてきたという社会学的観点や、信徒たちの先祖が長年にわたる弾圧や迫害に耐え、信仰の復活の結果として建設された歴史的観点からも評価されるものであり、五島にある全ての教会に文化的な価値があると考えられます。



堂崎教会（県指定文化財）



江上天主堂（国指定文化財）



旧五輪教会堂（国指定文化財）



宮原教会

2. キリシタン関連施設

- ・五島市には教会だけではなく、修道院や慈恵院、墓地、牢屋等のキリスト教に関する諸施設が多く残っています。五島におけるキリスト教の歴史を理解するにはこれらの施設への理解が必要です。
- ・楠原牢屋や牢屋の窄殉教記念聖堂はキリスト教の迫害の歴史を物語る施設として重要です。
- ・各地に存在する墓地は潜伏時代から現在にいたるまでさまざまな形態が存在し、キリシタンの歴史を知る上で重要です。



牢屋の窄殉教記念聖堂



淵ノ元カトリック墓地群



奥浦地区の慈恵院跡地

3. 教会と一体的な景観をなす集落

- ・教会は、信徒が長年に渡り信仰を守ってきたことによって初めてその建設が実現しました。
- ・教会の建設に必要な労働と予算は信徒の奉仕によって賄われ、その後の維持管理も信徒によって行われてきており、教会と集落の信徒の存在は密接な関係にあります。
- ・教会の価値はそれ単体で評価されるものではなく、このような歴史的背景、社会的背景まで含めて周囲の集落と一体的に評価されることが重要です。



浜脇教会（教会と一体になった集落景観）



水ノ浦地区（教会と一体になった集落景観）

4. 生活と信仰を支えた道路や航路

- ・キリシタン集落は小規模集落が各地に点在しており、ミサに参加するために拠点教会や神父が巡回する教会に徒歩や船での移動が行われていました。
- ・そうした道路や航路は学校のない集落の子供たちの通学や、近隣の集落に農業や漁業をする移動路としても使われていました。
- ・道路整備の一部は教区の信者による労働奉仕で整備されました。
- ・キリシタンの歴史においては集落間の交流が重要であり、集落間の海路、陸路は当時の生活や信仰の様子を理解するために重要であり、景観上も配慮が必要となります。

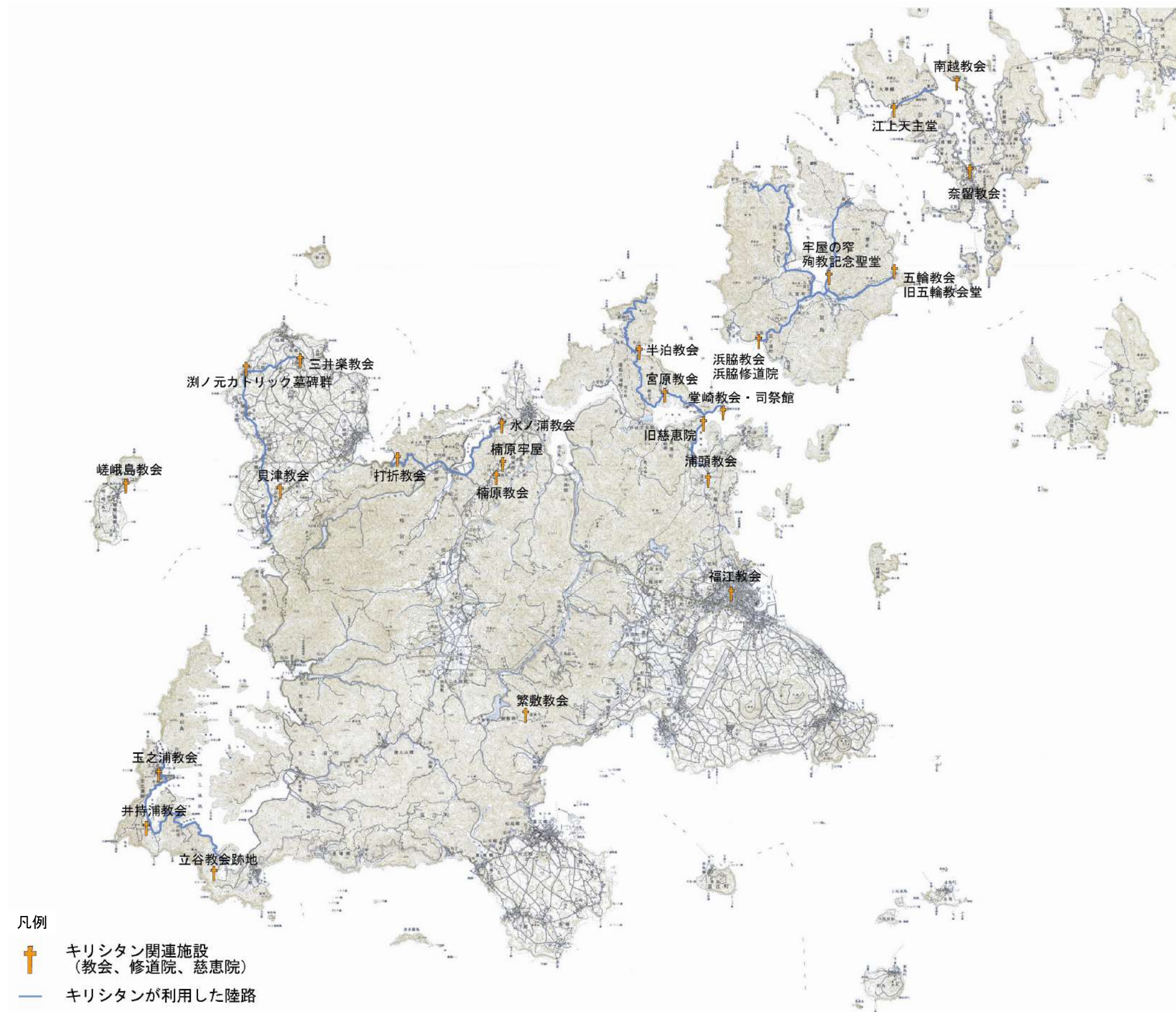


浜泊から堂崎教会のミサへは航路で通っていた



半泊地区よりミサへ参加する際に使用された道

I-6. キリシタン関連施設③



図：キリシタン関連施設

I-7. 代表的な樹木

1. 教会周辺の樹木

教会には、桜やタブノキ等の大木が植えられており、教会建築と一体的な景観を形成しています



浜脇教会の桜

2. 五島のシンボルである椿

椿は、椿油の材料や薪、防風林等として五島の生活の中で長く利用されてきました。



亀河原の椿の原生林

3. 地区のシンボルである大木

それぞれの地域には、シンボルとなる大木（アコウ、エノキ等）がみられます。



富江小学校前の大木



図：代表的な樹木

I-8. 景観形成活動

五島では、地区住民や市民団体により、様々な景観形成活動が行われています。

1. 環境美化活動

(1) 一斉清掃

- ・福江地区、富江地区、三井楽地区、久賀島、奈留地区等で、定期的に市民による海岸や公園などの清掃がおこなわれています。
- ・市の呼びかけで「クリーン五島大作戦」として鬼岳や鑑瀬公園周辺の清掃が行われています。
- ・高浜海水浴場や白良ヶ浜海岸、多郎島公園海水浴場等の海水浴場でも、海開きに合わせて清掃がおこなわれ、美しいビーチが維持されています。
- ・福江地区では、福江城周辺や武家屋敷通り、福江川の清掃が行われています。

(2) 市民による除草活動

- ・夏季には、地元住民による道路沿いの草刈がおこなわれています。
- ・堂崎教会周辺の草取りを、地元住民が自主的におこなっています。

2. 各種団体による景観形成活動

(1) 五島の椿を守る会

五島の椿を愛する会により、椿の植樹活動、三井楽の円畑周辺や亀河原の椿の原生林の案内標識づくりがおこなわれています。

(2) NPO 法人 DONDON 奈留

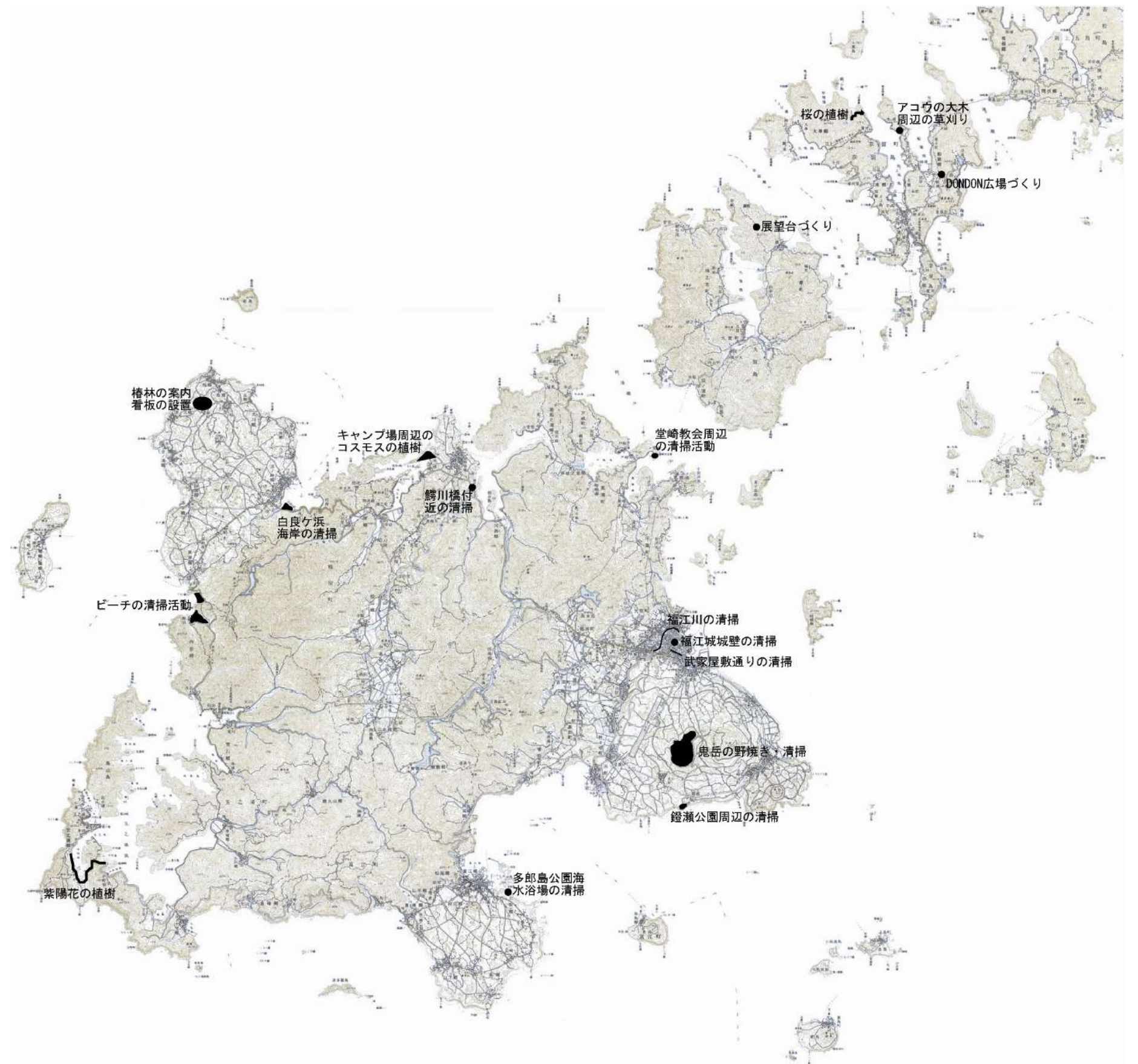
奈留島では、NPO 法人 DONDON 奈留により、空き地を利用した広場づくりや、アコウの大木周辺の草刈がおこなわれています。

(3) 地区住民による桜の植樹

奈留島の夏井地区の林道沿いは、地元住民による桜の植樹がおこなわれています。

(4) 観光協会等の紫陽花の植樹

玉之浦の県道 50 号線沿いには、旧玉之浦町観光協会と小学校、老人会により、紫陽花が植樹され、通りは紫陽花街道と名づけられています。



図：住民による景観形成活動